

(様式7-2)

会派政務調査活動・先進地調査等 精算書

令和6年5月 2 / 日

三田市議会議員 森本 政直 様

本会派(私)は、会派政務調査活動・先進地調査に要した費用の精算結果を下記のとおり報告します。

会 派 名	市民の会		代 表 者	
			議 員 名	檜 田 充
派遣者氏名	檜 田 充			
視 察 先	川崎市こども夢パーク (川崎市高津区下作延5丁目30番地1号) 戸田市役所 (戸田市上戸田1丁目18番1号)			
調 査 事 項 (調査目的)	川崎市：子育て支援施策「こども夢パーク」“子どもの自由な発想で遊び、学びつくる施設”の見学と考え方 戸田市：戸田型オルタナティブ・プラン (総合的な不登校対策)			
日 時	令和6年5月15日(水曜日)～令和6年5月16日(木曜日)			
支 払 金 内 訳	科 目	支 出 額	摘 要	
	宿泊料	√ 13,500	定額	
	日 当	√ 6,000	@3000円×2日	
	鉄道賃 (モレール)	31,780	別紙行程表(精算)参照	
	航空賃			
	バス賃	400	別紙行程表(精算)参照	
	船 賃			
	タクシー			
	その他	2,444	視察先への手土産、資料代	
合 計	√ 54,124			
備 考				

※100 km未満の距離における特急利用、タクシー利用の理由は備考欄に記入。  
会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和6年5月2/日

三田市議会議長 森本 政直 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	
		議員名	檜田 充
派遣者氏名	檜田 充		
視察先及び 調査事項 (調査目的)	川崎市：子育て支援施策「こども夢パーク」“子どもの自由な発想で遊び、学びつくる施設”の見学と考え方(川崎市高津区下作延)		
	戸田市：戸田型オルタナティブ・プラン(総合的な不登校対策) (戸田市上戸田1丁目18番1号)		
日 時	令和6年5月15(水)～令和6年5月16日(木)		
視察先対応者	川崎市：川崎市子ども夢パーク 副所長 千葉 志門氏 戸田市：戸ヶ崎 勤 戸田教育長、伊藤 和三 戸田市立教育センター所長、小肥 明広氏		
(調査結果の概要及び所見)別紙でも可 《川崎市子ども夢パーク》 「川崎市子どもの権利に関する条例」を実現する施設。権利主体としての「子どもの最善の利益」をすべての子どもが享受できることをめざす。 【子どもの、人間としての大切な権利】 ○安心して生きる権利 ○ありのままの自分である権利 ○自分を守り、守られる権利 ○自分を豊かにし、力づけられる権利 ○自分で決める権利 ○参加する権利 ○個別の必要に応じて支援を受ける権利 川崎市子ども夢パークの施設・運営の概要 2003年7月にオープン、2006年4月1日から指定管理者制度を導入 「公益財団法人川崎市生涯学習財団と特定非営利活動法人フリースペースたまりば」が受託 基本理念「子どもの自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける施設 子どもが安心してありのままの自分であられる場をめざす。 (感想)施設に入るなり、泥んこ遊びをする子どもの姿が、のこぎりで木を切る子どもの姿も、遊びながらいろいろなことを経験することで、強く、理解力のある大人へ成長することが期待されます。所属の学校との関係も良好な様子で子どもひとり一人が大切に育てられている。			

≪戸田市オルタナティブ・プラン（不登校対策）について（令和4年4月～）

「誰一人取り残されない、子どもたち一人一人に応じた支援の実現を求めて」

- 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える。
  - ・令和4年4月戸田型校内サポートルーム「ぱれっとルーム」設置（3校）、成果があったので補正予算で全校に設置(R4.4~)
  - ・県立翔陽高校内生徒支援教室「いっぼ」を設置(R4.4~)
  - ・オンラインシェア型教育支援センター「room-K」(R4.4~)
- 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援
  - ・国実証事業「教育総合データベース」による不登校等のSOSの早期発見・対応（R4.4~）
  - ・心の健康観察アプリ「シャボテン」の活用（R5.3~）
  - ・データで子どもを見つめ抜く「ケース会議」の開催
  - ・保護者への積極的な周知、不登校を考える会の開催
- 学校の風土の「見える化」で学校を「みんなが安心して学べる場」へ
  - ・学校経営ルーブリック策定（R5.3）
  - ・子ども主体のルールメイキングの実施
  - ・ポジティブな行動支援（PBS）、セサミストリートカリキュラム

戸ヶ崎教育長自ら出席して詳しく説明をいただいた。国の実証事業も活用して「チルドレンファスト」で取り組まれていることに感銘した。ただ、それでもここ10年連続で不登校児童生徒は増え続け、国全体で見れば2年で10万人増加している。そして何らかの相談や支援を受けていない子どもが少ない状況である。

大前提として「校内復帰」ではなく「社会的な自立」を目標として、引き続き取組を強化して「不登校も個性や多様性」とよく言われるが、本人は望んでその「個性」を得たわけではなく、普通になりたいだけである。との発言に温かみを感じた。本市でも不登校児童生徒は増加し続けており、さらなる対策の強化が求められる。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名（無会派は記入不要）、議員名を記入してください。